

令和2年度

(2020年度)

[令和2年4月1日から]
[令和3年3月31日まで]

事業報告書

(大阪薫英女学院中学校・高等学校関係抜粋)



学校法人 薫英学園

事業報告書

令和2年度（2020年度）事業報告
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I 法人の概要

(1) 基本情報

- ① 法人の名称 学校法人 薫英学園
② 主たる事務所
 住所 〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1
 電話番号 06-6381-6548
 FAX 06-6319-1505
 ホームページアドレス <http://www.kun-ei.ac.jp/>

(2) 建学の精神

本学園は、昭和6年(1931年)に創設された教育機関であり、令和3年6月に創立90周年を迎えます。この間、一貫して堅持してきた建学の精神は「敬・信・愛」です。

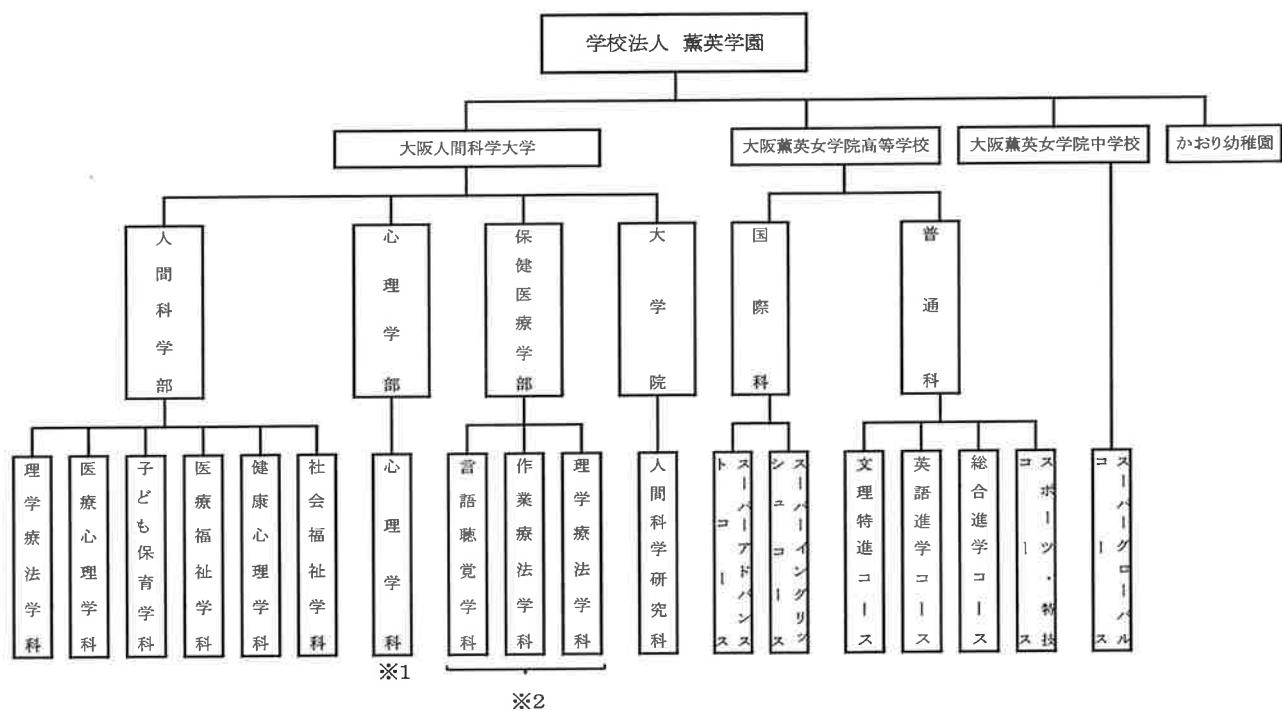
すなわち「人生は、衣・食・住が充たされただけで幸福ではない。他より尊敬され、信頼され、愛されることが真の幸福である。互いに相敬し、相信じ、相愛し、明るき人生観に生きなければならない。」という建学の精神によって築かれる人間関係は、思想・信条や価値観の異なる人間との共生、環境との共生という、まさに21世紀に求められているテーマである「共生」を追求する根幹をなすものと考えています。

(3) 学校法人の沿革（中学校・高等学校）

昭和6(1931)年6月	私塾薰英女子学院創設（大阪市東淀川区木川）
昭和8(1933)年7月	各種学校令による私立薰英女子学院設立認可
昭和13(1938)年7月	薰英女学校（修業年限4年）に名称変更
昭和16(1941)年3月	財団法人 薫英学園設立並びに薰英高等女学校（修業年限5年）設置認可
昭和18(1943)年4月	全校生徒正雀学舎に移転完了（大阪府摂津市正雀）
昭和22(1947)年3月	薰英中学校設置認可
昭和23(1948)年3月	学制改革による薰英高等学校設置認可
昭和26(1951)年3月	財団法人薰英学園を学校法人に組織変更認可
昭和40(1965)年9月	薰英中学校廃止認可
平成2(1990)年4月	薰英高等学校普通科に国際コースを設置
平成8(1996)年4月	薰英高等学校に国際科開設
平成9(1997)年3月	大阪薰英女学院中学校設置認可
平成9(1997)年4月	大阪薰英女学院中学校開設 薰英高等学校を大阪薰英女学院高等学校に名称変更認可 大阪薰英女学院高等学校普通科に文理コース・総合コースを設置

(4) 設置する学校・学部・学科等【学園組織】

(令和2年5月1日現在)



所在地

大阪薰英女学院高等学校（昭和16年4月開設）

〒566-8501 摂津市正雀1-4-1 Tel 06-6381-5381

大阪薰英女学院中学校（平成9年4月開設）

〒566-8501 摂津市正雀1-4-1 Tel 06-6381-2345

(5) 学生数の状況

(令和2年5月1日現在)

設 置 校	入学定員	入学者数	収容定員	現 員
大阪薰英女学院高等学校	440	211	1,320	688
大阪薰英女学院中学校	120	45	360	93

(6) 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

設 置 校	平成30年度	令和元年度	令和2年度
大阪薰英女学院高等学校	0.50	0.51	0.52
大阪薰英女学院中学校	0.26	0.23	0.25

(7) 役員・評議員の概要

(令和2年5月1日現在)

形態	定員	常勤	非常勤
理事	9	5	4
評議員	19	10	9
監事	2	0	2

(8) 教職員の概要

(令和2年5月1日現在)

設置校	教員数		職員数		計
	専任	非常勤	専任	パート タイマー	
大阪薫英女学院高等学校	53	14	11	6	84
大阪薫英女学院中学校	8	3	2	1	14

II 中期的な計画及び事業計画の達成状況

[高等学校・中学校関係]

1 教育活動の充実

(1) 学科、コース

【高等学校】

学科	コース
普通科	文理特進、英語進学、総合進学、スポーツ・特技
国際科	スーパーアドバンスト、スーパーイングリッシュ

【中学校】

学科	コース
—	スーパーグローバル

2 海外留学

全世界に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、公的な機関の指示を踏まえつつ、本校の特色である異文化交流、海外体験の実施に向けて、安全を第一に模索を続けた1年でした。結果的には1年間留学を目的とした中学校スーパークローバルコースと高校スーパーアドバンストコース、スーパーイングリッシュコースにつきましては、ニュージーランド、カナダでの現地の指示により生徒全員が、生徒本人、保護者等の理解の元に1年間留学を修了することができました。しかし、海外短期留学・研修、海外への修学旅行等は実施が不可能となりました。

(1) 長期留学

海外長期留学は、ニュージーランドへ高校生51名（姉妹校22校）中学生21名（姉妹校10校）及びカナダへ高校生19名（姉妹校7校）の生徒が1年間留学し、英語力

の習得はもとより、国際感覚の醸成や国際交流に努めました。

1988年にカナダ留学から始まった海外長期留学は今回で33回目、中高一貫のニュージーランド留学は21回目を数えますが、これまで約4,300名を超える生徒が留学に参加しています。

3 生徒募集

少子化が進む中で、喫緊の課題である生徒確保に向け、保護者対象の進学説明会や個別相談会の開催に加え、学校・塾への訪問を積極的に行うなどの取り組みを行いました。

また、中学校では、これまでに引き続き、中高一貫教育の良さを、高等学校については、留学制度を中心とする国際性及び有名大学への豊富な進学実績という、本校の特色をアピールして定員確保に努めました。しかし、内部、外部説明会は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策などからWEB対応や予約制、入場制限などに変更され、特定の参加者に限られたことから広報活動も制限されました。

(1) 保護者対象進学説明会 (Web 対応を含む)

高等学校	(実施回数	9回	参加件数	972 件)
中学校	(実施回数	10回	参加件数	196 件)

(2) プレテスト

中学校受験希望者を対象に10月、11月に実施し、50名が受験しました。

(3) 個別相談会の実施

高等学校	(実施回数	5回	参加件数	97 件)
中学校	(実施回数	5回	参加件数	8 件)

(4) 学校訪問等

訪問校数 (延べ数) 中学校 1,736 回訪問 塾 15,403 回 (2,765 塾) 訪問

(5) 塾対象学校(入試)説明会

春の説明会 (学校) 90 塾 秋の説明会 (ホテル) 167 塾

4 「英検」(実用英語技能検定)の実績

本年度、本校に在籍する生徒の中で「英検」各級取得者数は、1級4(3)名、準1級92(66)名、2級325(338)名、準2級534(541)名、3級243(216)名と大きな成果を収めています。特に、1年間留学体験をした国際科の生徒2人に1人が準1級以上合格となりました。なお、高校生が取得できる割合が1%といわれる超難関の1級合格は19年連続を更新しています。(()内の数字は、昨年度)

5 Kun-ei Kids (クンエイ・キッズ)の実施

Kun-ei Kidsとして、小学校5、6年生を対象に、5月から10月にかけて11回にわたり英会話講座を開講しました。参加者は、本校の様子を身近に知ることができるなど、本校受験への大きなきっかけとなっており、募集対策の一因ともなることから、引き続き内容の充実に努めました。

6 薫英杯女子中学生英語スピーチコンテストの実施

ニュージーランド、カナダの両大使館、大阪府教育委員会などの後援を得て、文化の日に実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として申込者33校からDVDによる予選審査をあらかじめ実施し、本選は選出された13名で暗唱発表をする形態で実施しました。併せて、今年初めて小学生2名が参加し、英語の発表を披露しました。

7 その他（クラブ活動実績）

（1）陸上競技部

ア. 陸上競技部は、女子第36回大阪高等学校駅伝競走大会において優勝し、大阪府の代表として女子第32回全国高等学校駅伝競走大会に15年連続15回目の出場を果たしました。本大会は第7位入賞となりました（入賞7回目）。

イ. 卒業生の前田穂南（天満屋）が出場予定の東京オリンピック・マラソンが新型コロナウイルス感染症の影響により延期になりました。

東京オリンピック・マラソンの補欠選手・松田瑞生（ダイハツ・本校卒業生）は令和3年3月の名古屋ウィメンズマラソンで優勝し、国内主要マラソン大会3回目の優勝となりました。

ウ. 全国の強豪校が参加した第37回春の高校・伊奈駅伝において、4大会ぶり3回目の優勝となりました。

エ. 皇后盃第39回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、秩父宮賜杯第73回全国高等学校陸上競技選手権大会（全国インターハイ）、南部忠平杯第35回くらよし女子駅伝競走大会、第13回西脇多可新人高校駅伝競走大会、第32回選抜女子駅伝北九州大会など、連続出場を続け複数回の優勝等の好成績をおさめてきました大会が、新型コロナウイルス感染症の影響でいずれも中止となりました。

（2）バスケットボール部

①中学バスケットボール部

ア. 「第74回大阪中学校バスケットボール選手権大会」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。

イ. 「第69回近畿中学校総合体育大会」も新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。

ウ. 「第50回全国中学校バスケットボール大会」も新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。

エ. 「大阪総合体育大会」で3位に入り、U15選手権大会に出場することができました。

オ. 「全国U15選手権大会大阪府予選」で2位という成績を収めることができました。

カ. 個人として、市のU14・U13にそれぞれ6名、8名が選ばれていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により選考会は中止になりました。

②高校バスケットボール部

ア. 「第75回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会」「第67回近畿高等学校バスケットボール選手権大会」「第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会（インターハイ）」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

イ. 「第 73 回大阪高等学校バスケットボール選手権大会」で優勝し、3 年連続 33 回目のウインターカップ出場権を獲得しました。12 月に行われました「第 73 回全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）」では桜花学園高校に敗れ、ベスト 16 という成績で大会を終えました。

ウ. 令和 3 年 1 月に行われました「第 68 回大阪高等学校バスケットボール新人大会」では北地区 3 回戦まで勝ち上りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。

エ. 個人として、3 年生の安田茉耶が女子 U16・U17 の日本代表選手に選出され、「FIBA U16 女子アジア選手権 2019」「FIBA U17 女子ワールドカップバスケットボール」に出場予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。

以上